

平成30年度SGH連絡協議会

～ 島根県立隠岐島前高校の事例を探究する ～



学んだことを活用し、実践から学ぶ

Place, Problem, Project-based

地域づくり

学習

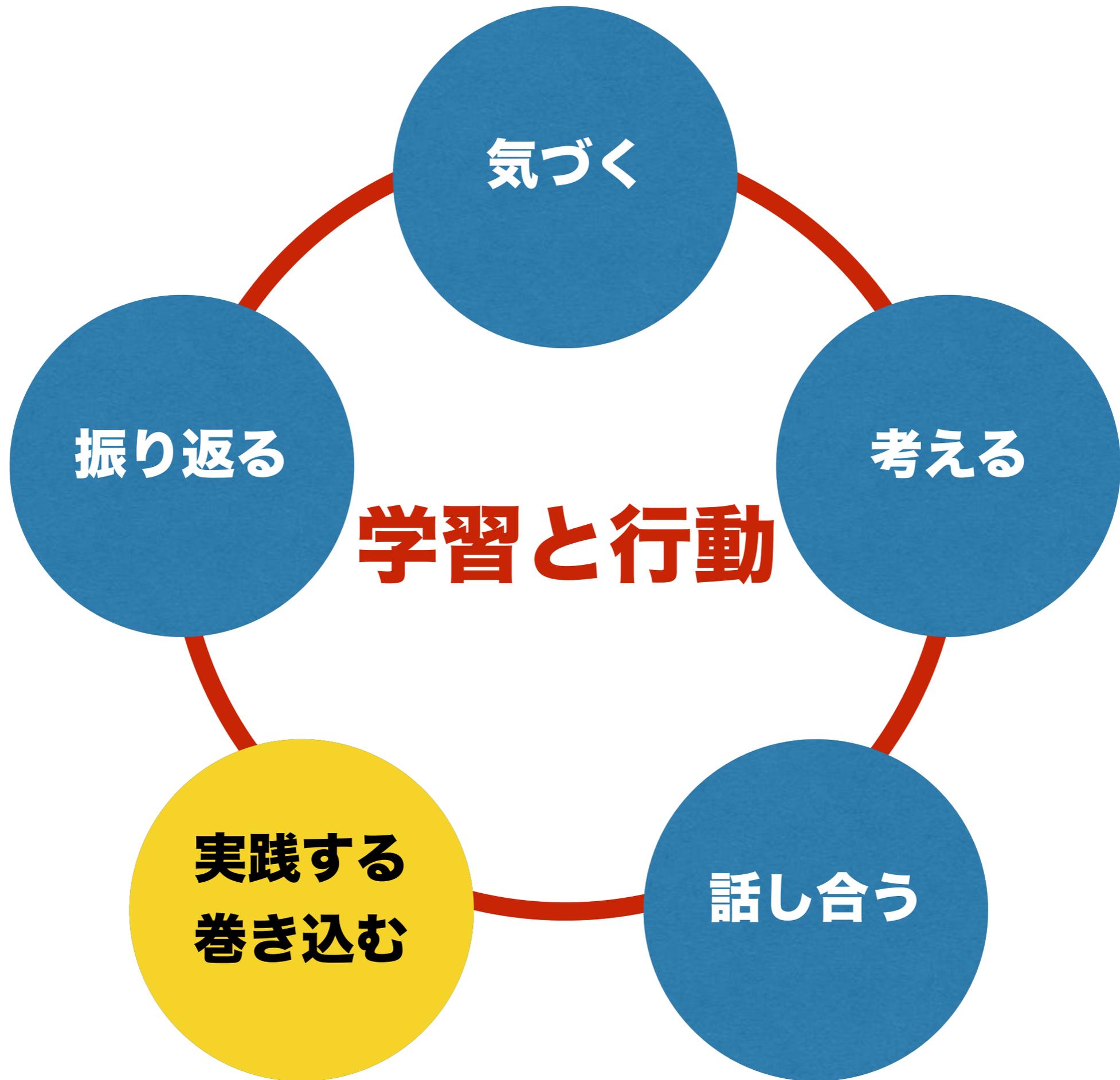
知識・技能習得

PBL

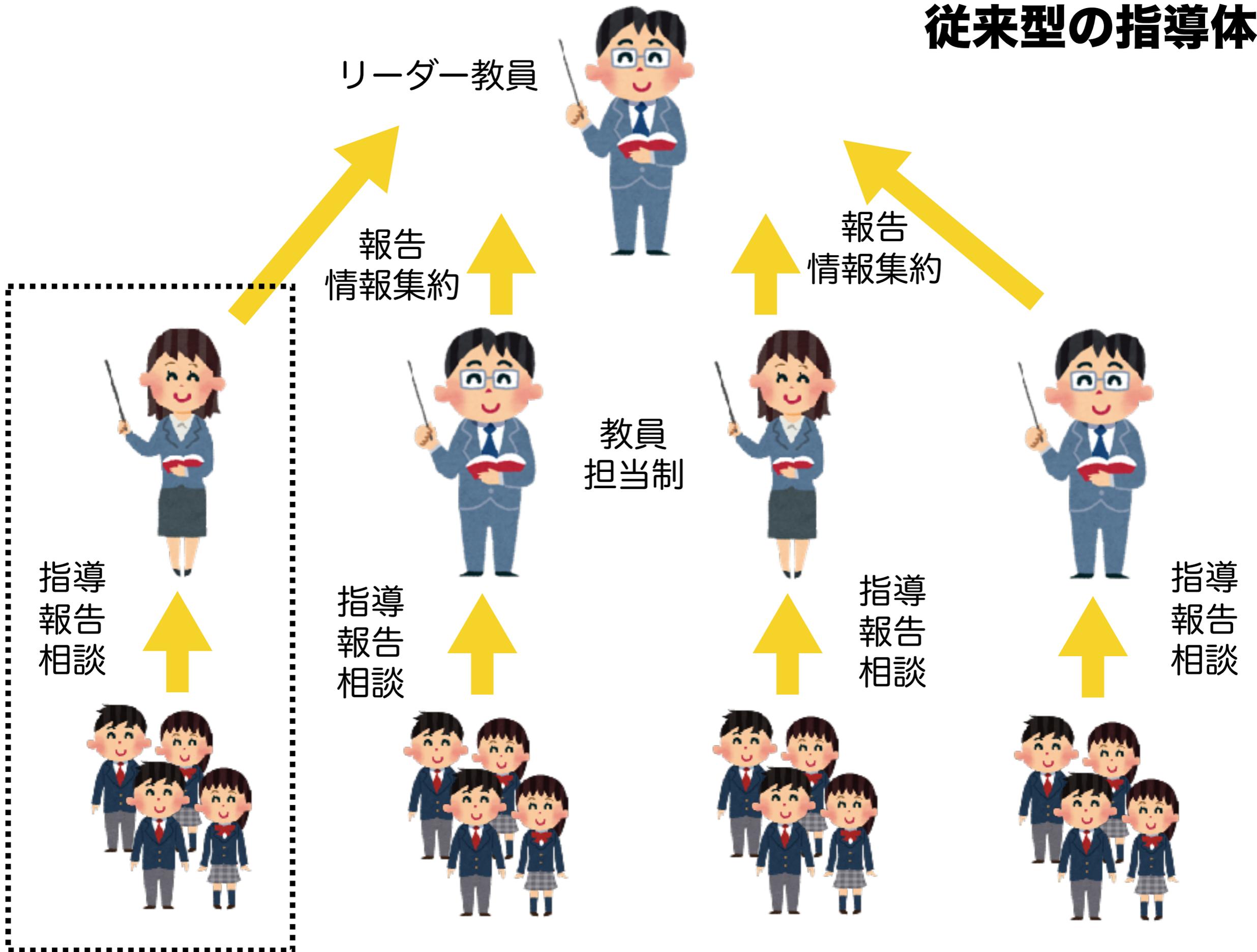
行動

課題解決・実践

人づくり



従来型の指導体制

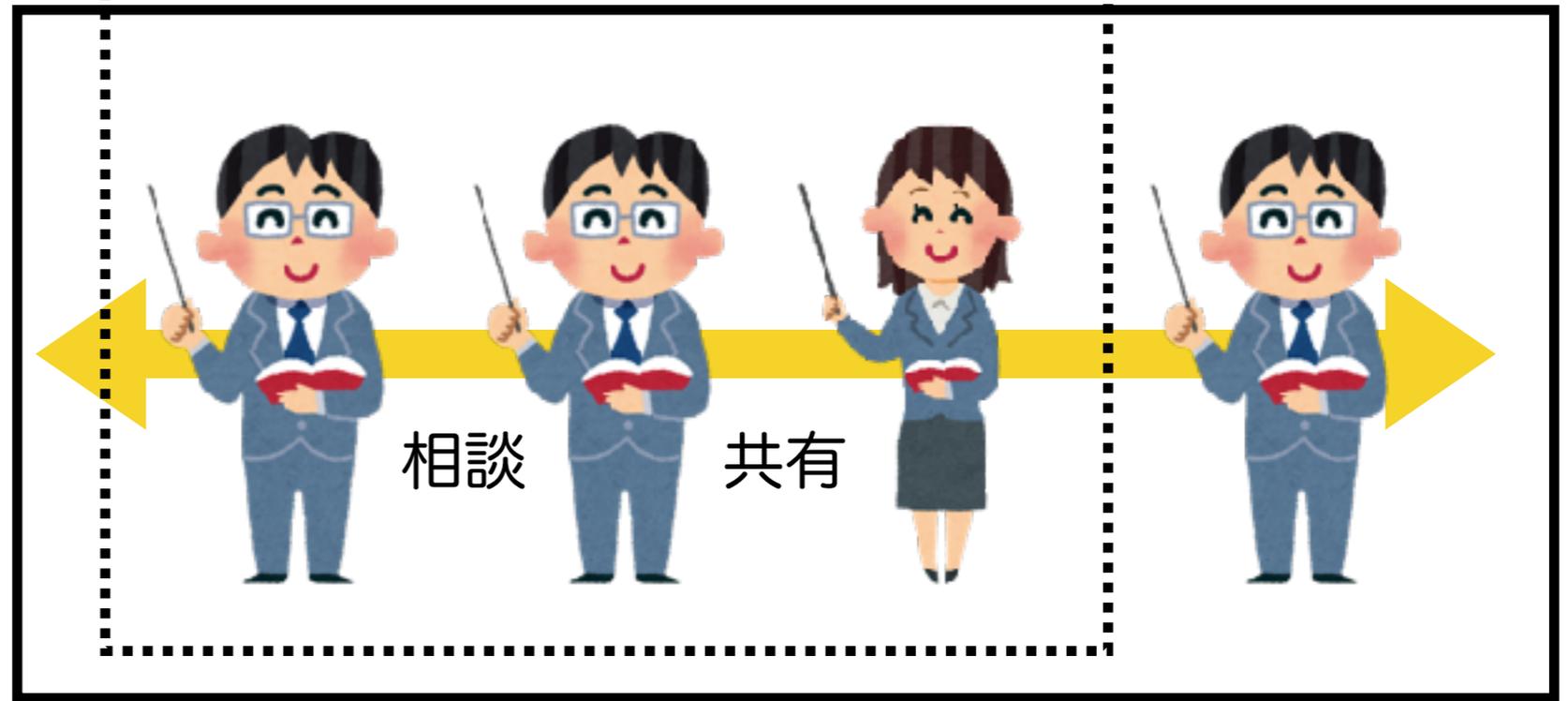


SGH後の指導体制

グローバルな
アドバイザー

本日のコンサルティング担当

教員チーム



指導
報告
相談



指導
報告
相談



指導
報告
相談



指導
報告
相談



情報共有

SGHを推進するための体制（H29）

横串：学年部と教科横断型の推進体制（平均：1チーム1名体制）

縦串：SGH推進チームとキャリア教育主任とコーディネーター

科目	受講者数	体制
夢探究Ⅰ（1年） 16チーム	64名	早川（国語）、清山（社会）、安田（英語）、山中（数学）、大上（家庭）、南口（理科）、岡田（国語）、 大野、奥田、曾根（コーディネィ）、鍋田（キャリア）
地域生活学（2年） 16チーム	66名	中村（社会）、高松（数学）、服部（英語）、田村（社会）、高木（情報）、河内（保健）、石飛（国語）、鍋田（キャリア）、大野、奥田、曾根（コーディネィ）
地域地球学（3年） 5チーム	23名	中山（理科）、南口（理科）、若林（理科）、 鍋田（キャリア）、大野、曾根（コーディネィ）

空き家を活用でまちづくりに貢献する

教員

役場職員をアドバイザーに



探究学習と英語科の連携



教室レイアウトも探究学習用に変更

バーを
福祉担当に分ける

B

福祉

C D



すぐに他教科にも波及（国語）



ご清聴いただきありがとうございました